

**米国キャメロン LNG 基地を活用した日本への e-methane 導入に関する詳細検討への
センプラ・インフラストラクチャー社の参画について**

2023 年 8 月 30 日

東京ガス株式会社
大阪ガス株式会社
東邦ガス株式会社
三菱商事株式会社

Sempra Infrastructure Partners LP

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）、大阪ガス株式会社（社長：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）、東邦ガス株式会社（社長：増田 信之、以下「東邦ガス」）、三菱商事株式会社（社長：中西 勝也、以下「三菱商事」）、Sempra Infrastructure Partners LP（CEO：ジャスティン・バード、以下「センプラ・インフラストラクチャー社」）は、このたび、合成メタン（以下「e-methane*1」）を米国メキシコ湾岸で製造・液化し、国際的に輸送するサプライチェーン確立に向けた共同検討（以下「本プロジェクト」）に関する基本合意書を締結しました。

*1：クリーン水素と回収した二酸化炭素を原料として製造する合成メタン

本プロジェクトでは、東京ガス、大阪ガス、東邦ガスの年間都市ガス需要の 1%に相当する年間 13 万トンの e-methane を製造、ルイジアナ州南西部の三菱商事が液化能力を有するキャメロン LNG 基地にて液化し、日本に輸出することを目指します。

日本政府が掲げる「2050 年カーボンニュートラル」実現には、熱需要に対応するガス体エネルギーの脱炭素化が重要です。その手段の 1 つとして、既存の LNG 出荷・受入基地やパイプラインなどの都市ガスインフラや消費機器が活用でき、カーボンニュートラルへのスムーズな移行と追加的な社会コスト抑制の両立が可能な e-methane の導入が期待されています。

また、米国エネルギー省と日本の経済産業省は「CCUS/炭素転換・カーボンリサイクル、二酸化炭素除去分野における協力に関する協力覚書」を締結しています。本プロジェクトはこの覚書の目的に適う取り組みであり、5 社はカーボンニュートラルに資する燃料である e-methane をお届けできるよう、引き続き取り組んでいきます。

東京ガス、大阪ガス、東邦ガス、三菱商事は 2022 年より本プロジェクトの実現可能性に

関する詳細検討*2を行ってきました。このたび参画したセンブラ・インフラストラクチャー社を含め、今後 5 社は既存の都市ガスインフラと LNG サプライチェーンを活用した e-methane の導入・普及を牽引し、スムーズなエネルギー転換の実現に貢献してまいります。

[*2：米国キャメロン LNG 基地を活用した日本への合成メタン（e-methane）導入に関する詳細検討の実施について（2022 年 11 月 29 日公表）](#)

<センブラ・インフラストラクチャー社 ジャスティン・バード CEO のコメント>

センブラ・インフラストラクチャー社は、持続可能で安定的なエネルギーの未来実現に向けて取り組むことをコミットしており、このたび、社会に不可欠なエネルギーインフラ開発という私たちの強みを提供できることを、とても喜ばしく感じています。本プロジェクトが目指すゴールは私たちの事業戦略とも強く一致しており、安全でコスト競争力のある低炭素エネルギーのインフラを社会の皆さまのために提供できると確信しています。

<東京ガス、大阪ガス、東邦ガス、三菱商事各社代表のコメント>

これまで 4 社は、米国テキサス州・ルイジアナ州を共同で取り組む最有望地域として選定し、世界初となる e-methane の大規模かつ国際的なサプライチェーン確立を目指して検討を重ねてきました。今後は、米国現地でのプラント用地選定・各種許認可・地元対応等、米国地元企業との連携は必要不可欠です。この地域のエネルギーインフラ開発で高い信頼性と実績を持つセンブラ・インフラストラクチャー社を本プロジェクトのパートナーとして迎えらることを嬉しく思います。2030 年の日本への e-methane 輸出開始を目指し、5 社での共同検討を推進してまいります。

以上